

平成26年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月12日

上場会社名 株式会社タイヨー 上場取引所 大・福
 コード番号 9949 URL <http://www.taiyonet.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清川 和彦
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 村田 浩 (TEL) 099-268-1211
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第1四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	31,161	1.3	177	△42.2	147	△50.2	59	△57.9
25年2月期第1四半期	30,757	△2.0	306	△44.5	295	△43.9	142	33.5

(注) 包括利益 26年2月期第1四半期 110百万円(545.6%) 25年2月期第1四半期 17百万円(△79.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第1四半期	3.06	—
25年2月期第1四半期	7.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期第1四半期	96,703	48,290	49.9	2,468.54
25年2月期	95,787	48,376	50.5	2,472.72

(参考) 自己資本 26年2月期第1四半期 48,290百万円 25年2月期 48,376百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年2月期	—				
26年2月期(予想)		0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	67,000	4.1	1,160	44.3	1,160	46.6	510	23.9	26.07
通期	134,000	4.2	2,900	35.4	2,900	38.5	950	10.4	48.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年2月期1Q	27,818,895株	25年2月期	27,818,895株
26年2月期1Q	8,256,384株	25年2月期	8,254,688株
26年2月期1Q	19,563,368株	25年2月期1Q	20,148,827株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
【四半期連結損益計算書】	7
【四半期連結包括利益計算書】	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済に持ち直しの動きが見られ、新政権の金融緩和や経済対策への期待から円安の進行、株価の上昇が続き、景気は緩やかではありますが回復の兆しが見られました。

一方、小売業界におきましては、景気回復による消費者マインドの改善が期待されるものの、業種・業態を超えた競合がますます厳しさを増し、原材料の価格高騰や電気料金の値上げの影響、消費税増税など、先行きに対する懸念は払拭されておらず、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、「強靱な企業体質による第二の創業」をスローガンとした第二次中期経営計画の最終年度として、引き続き変革、挑戦、創造できる企業文化づくりを推進し、「価値の創造」と「顧客の創造」による営業利益と企業価値の向上を目指してまいりました。また、重要課題である惣菜事業の「製販一体」体制の構築とネットスーパー事業の拡大に取り組むとともに、鹿児島、宮崎の経営基盤を一段と強固なものとするために、既存店舗の活性化や不振部門の改善など、お客様に満足していただき、地域の暮らしに役立つ店舗づくりを進めてまいりました。

営業政策面におきましては、お客様にとって価値ある商品を提供するために、当社オリジナルである「優」ブランド商品などの独自化商品の開発や、品質と鮮度の向上に努めてまいりました。また、火曜日及び水曜日の「百均市」や「今が旬・祭」、「ステーキ祭」、「幸せ満腹大作戦」などの恒例セール企画の強化と進化を行い、実演販売や比較試食による料理提案と関連商品販売を積極的に実施してまいりました。その他にも、お客様の「不の解消」を実現するために、3月から、お買い上げいただいた商品をご自宅まで届ける「お帰りらくらく便」のサービスを、鹿児島、宮崎の全店舗で開始し、ネットスーパーの配送エリアも拡大して、鹿児島県内の全離島にもお届けできるようにいたしました。また、お客様の利便性の向上と既存店舗の活性化のために、一部の店舗の開店時間を早め、営業時間の拡大に取り組んでまいりました。

管理政策面におきましては、お客様のニーズやウォンツを把握して売場計画に反映させるために、売上状況等のデータの活用を推進し、単品管理の強化を進めてまいりました。また、接客レベルの向上だけでなく、心の豊かさを持つ社内風土作りのための「フレンドリーサービス」の更なるレベルアップと、社外講師による研修も引き続き実施し、人材の育成に取り組んでまいりました。4月には新たに海外との輸出入を行うために「海外取引課」を新設したほか、店舗の販売支援のために「特別販売課」を新設いたしました。また、5月には生鮮食品部を、鮮魚、青果物、惣菜の各部門を管轄する「第一生鮮食品部」と、精肉部門を管轄する「第二生鮮食品部」に再編し、営業政策の強化を図りました。

その他にも、東日本大震災の義援金募金活動など、これまで実施してきた社会貢献活動や環境保全活動を継続するとともに、社会福祉団体と連携して家庭の資源ゴミをお買物の際に回収する活動「はっぴいエコプラザ」を新たに4店舗で開始し、5月末時点では鹿児島、宮崎の19店舗で実施しております。また、今夏に向けて節電対策プロジェクトを発足し、店内照明の間引き点灯や照明のLED化、省電力設備の導入、電力監視システムの活用などを推進し、必要となる電力の確保と地球温暖化対策に取り組んでおります。

店舗につきましては、グランド東開（3月）を新設したほか、朝仁店（4月）、永利店（4月）、花棚店（5月）、隼人店（5月）を改修いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、前期3店舗及び今期1店舗を新設したことによ

り営業収益は増加したものの、これら新店舗に係る経費増加分を既存店舗で吸収することができなかつたことから、営業収益（売上高及び営業収入）が311億61百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益が1億77百万円（前年同期比42.2%減）、経常利益が1億47百万円（前年同期比50.2%減）、四半期純利益が59百万円（前年同期比57.9%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は967億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億15百万円増加いたしました。これは、主に現金及び預金が3億86百万円減少したものの、商品及び製品が6億27百万円、土地が5億44百万円、建物及び構築物（純額）が3億62百万円増加したことによるものであります。

負債は484億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億1百万円増加いたしました。これは、主に短期借入金が26億3百万円減少したものの、長期借入金が17億69百万円、買掛金が11億77百万円、1年内返済予定の長期借入金が増加した5億32百万円増加したことによるものであります。

純資産は482億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ85百万円減少いたしました。これは、主にその他有価証券評価差額金が増加した51百万円増加したものの、利益剰余金が1億35百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績の見通しにつきましては、平成25年4月8日発表の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,138	5,751
売掛金	67	124
商品及び製品	6,717	7,345
仕掛品	1	1
原材料及び貯蔵品	145	137
その他	2,167	1,697
流動資産合計	15,237	15,058
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,958	19,320
土地	53,051	53,595
その他(純額)	3,979	4,141
有形固定資産合計	75,988	77,058
無形固定資産		
その他	384	378
無形固定資産合計	384	378
投資その他の資産		
投資有価証券	1,322	1,380
その他	3,078	3,051
貸倒引当金	△223	△223
投資その他の資産合計	4,177	4,208
固定資産合計	80,549	81,645
資産合計	95,787	96,703
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,543	7,721
1年内償還予定の社債	—	30
短期借入金	13,674	11,071
1年内返済予定の長期借入金	2,859	3,392
未払法人税等	673	240
賞与引当金	772	1,270
ポイント引当金	213	215
商品券回収損失引当金	18	19
その他	5,015	4,765
流動負債合計	29,770	28,726
固定負債		
社債	30	—
長期借入金	11,323	13,093
退職給付引当金	1,413	1,414
役員退職慰労引当金	210	213
店舗閉鎖損失引当金	24	24
資産除去債務	304	330
その他	4,333	4,609
固定負債合計	17,640	19,686
負債合計	47,410	48,412

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,505	8,505
資本剰余金	7,964	7,964
利益剰余金	39,284	39,148
自己株式	△7,577	△7,578
株主資本合計	48,176	48,039
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	200	251
その他の包括利益累計額合計	200	251
純資産合計	48,376	48,290
負債純資産合計	95,787	96,703

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 【四半期連結損益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
売上高	30,368	30,767
売上原価	23,825	24,160
売上総利益	6,542	6,607
営業収入	389	393
営業総利益	6,932	7,001
販売費及び一般管理費	6,625	6,824
営業利益	306	177
営業外収益		
受取利息	5	5
その他	63	54
営業外収益合計	68	60
営業外費用		
支払利息	55	50
その他	24	39
営業外費用合計	79	90
経常利益	295	147
特別利益		
固定資産売却益	0	17
移転補償金	—	5
特別利益合計	0	23
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	5	6
退職特別加算金	—	9
減損損失	—	11
特別損失合計	5	27
税金等調整前四半期純利益	289	143
法人税、住民税及び事業税	326	227
法人税等調整額	△178	△143
法人税等合計	147	83
少数株主損益調整前四半期純利益	142	59
四半期純利益	142	59

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	142	59
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△125	51
その他の包括利益合計	△125	51
四半期包括利益	17	110
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17	110
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。